

かながわの交通 2020 12

交通安全年間スローガン(全日本交通安全協会会長賞)
～一般部門A:運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの～

もういいかい 残ったお酒が まあただよ



年末の交通事故防止運動等のポスター



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵!

運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(令和2年11月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数
令和2年		18,423	125	21,322
令和元年		21,242	124	24,998
増減数		-2,819	+1	-3,676
増減率		-13.3%	+0.8%	-14.7%

	総数	男	女
県人口	9,216,009	4,592,141	4,623,868
免許人口	5,637,808	3,211,976	2,425,382
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人



ホームページ

(県人口は令和2年9月1日、免許人口は令和2年10月末現在)

令和2年交通安全功労者表彰

1,104人と238団体が受賞

令和2年交通安全功労者表彰受賞者が決定しました。この表彰には、県知事表彰、県公安委員会表彰、県警察本部表彰、県交通安全協会会長表彰などがあります。紙面の都合により県警察本部長と県交通安全協会会長の連名表彰受賞者の方々を紹介いたします。

受賞者（団体）の皆様おめでとうございます。

神奈川県警察本部長
連名表彰
神奈川県交通安全協会会長

交通安全功労者 (70人)
(敬称略)

加賀町 山口紀久雄

南 齊藤好子

伊勢佐木 吉田泰治

田井昌伸

戸部 三石孝司

阿部誠一郎 金子勝雄

神奈川 小川和雄



鶴見 鈴木秀一郎

保土ヶ谷 栗原敏郎

緑 岩岡義明

黒澤克則 小野寺正博

石井 譲

青葉 関根勝美

土志田 淳

戸塚 高山征一

光森幸男

泉 北村正明

石井保雄

瀬谷 鈴木康夫

川崎 関野克榮

川崎臨港 中川靖之

中原 内藤上夫

大箭久夫

高津 坂本忠弘

宮前 杉田 隆

多摩 新井 勉

松本誠二

横須賀 藤澤博之

藤沢市 岩本房江

青木 進

藤沢北 長谷川達郎

高橋俊二 早川純好

松村恵子 清水久美子

有松千江子

平塚市 仲田 彰

小田原 赤木信雄

大友洋男 勝俣 武

鈴木一人 富田真一

広井治夫

足柄 露木達也

秦野市 梅原茂昭

井上作造 柳川 朗

池田安行 桐山裕美子

内野常子

伊勢原 渡邊節雄

堀江敬太

厚木警察署管内

飯島登喜夫 岩沢利夫

青木忠雄

大和綾瀬 高橋 馨

古山 豊

座間 澤田信雄

海老名市 都丸文夫

新倉喜美子 高橋利明

相模原 十河照雄

相模原南 田中常夫

桜場 清

津久井 野崎 務

川口 貢 佐藤晃一

佐藤正博

優良運転者 (140人)

加賀町 井上功一

原田隆幸 早川智行

中村 茂 芳賀 努

高橋 曉 西衣 誠

加藤孝平 大久保裕次

新堀義明 椋木 寛

山手 川田寛使

磯子 薬師山 芳

金沢 森崎美貴男

南 宮 浩一

神奈川 村田一裕

村田朝江

鶴見 高橋雅幸

保土ヶ谷 青木慎吾

松浦 清

港南 藤田茂正

緑 伊東ひろ子

保坂文男 佐藤寿枝

田中知江子 依知川伸一

ぶつかるよ ながら運転 事故のもと

荒 春子	青 葉 落合 勇	戸 塚 福島英雄	村田佳比古	栄 宮城 一郎	泉 中村 俊也	滝沢憲示 水草 明生	山城秀勝 後藤 博司	瀬 谷 宮本 健児	吉田一男	川 崎 朝倉 文夫	守谷文宏	川崎臨港 長野 耕次郎	幸 遠藤 高行	山重芳雄 今井 貞男	大蝶寿一	中 原 佐藤 吉松	米田 勇 佐藤 正	山下敦司	高 津 渋谷 貢	星 政子 三堀 秀樹	宮 前 手塚 百合子	新保忠能 岡田 俊二
西田瑞穂 伊南 健二	多 摩 青木 和子	工藤美子	麻 生 松沢 昇	田中 誠 下山 充	末田守男 佐藤 亮介	横須賀 平野 忠	前田忠廣 小林 光一	浦 賀 相原 良則	田丸恒治 本田 建治郎	高見佳純 北岡 典士	三浦市 叶 美由紀	藤沢市 穂山 孝	相澤靖宏 牧田 紘一	関根純一 中根 京子	藤沢北 石原 正義	土橋 正	茅ヶ崎地区 村田 有康	杉崎 進 橋村 竜二	小田原 星崎 達矢	穂坂謙吉 鈴木 敦子	清水秀夫 鈴木 恭子	柳下 茂 浅田 久明

令和2年 交通安全功労者受賞者

表 彰 者	種 別	受賞者数
神 奈 川 県 知 事	交通安全功労者(個人)	64
	交通安全功労者(団体)	17
神 奈 川 県 公 安 委 員 会	交通安全功労者(個人)	10
	交通安全功労者(団体)	10
神 奈 川 県 警 察 本 部 長	交通安全協力者(個人)	75
	交通安全協力者(団体)	25
	優良運転者(事業用)	81
	優良運転者(自家用)	55
神 奈 川 県 警 察 本 部 長 (連名) (公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	70
	優良運転者	140
(公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	101
	交通安全優良団体	33
	優良運転者(20年)	73
	優良運転者(15年)	199
神 奈 川 県 警 察 本 部 長 (連名) (一社)神奈川県安全運転管理者会連合会会長	交通安全功労者	18
	優良安全運転管理者	31
	優良運転者	33
	安全運転管理優良事業所	56
	優良安全運転管理者会	3
(一社)神奈川県安全運転管理者会連合会会長	交通安全功労者	24
	優良安全運転管理者	48
	優良運転者	82
	安全運転管理優良事業所	94
計	個 人 小 計	1,104
	団 体 小 計	238
	合 計	1,342

足 柄 根内 義幸	濱田 信子 朝倉 利幸	立和名 一夫 笹野 道雄
西海一男 小島 一剛	狩野ひろ子 神戸 晴文	福村 幸夫 金田 幸夫
厚木警察署管内	大久保みゆき	齋藤 綾子 倉津 悦子
佐々木孝行 松井 洋一	波多野和子 光 一彦	岸野 秀雄 山本 進
石塚義郎 笹生 孝子	菅野啓二 相澤 福二	山崎 康弘 斎藤 律子
山口善勝 本多 千春	宮原照男 伊藤 則子	相模原北 大江 文夫
市川留美子 関口 雄二	寺部健二 伊藤 幸洋	津久井 榎本 秀秋
関口裕美	井出千景 古橋 和子	石井 滋
海老名市 永澤 繁俊	相模原 佐藤 明夫	
佐藤和史 川俣 恵子	渡部佳織 宮本 和男	
間瀬英吉郎 手塚 京子	山田 誠 大木 眞胤	

年末の交通事故防止運動

● 実施期間

令和2年12月11日(金)～12月20日(日)の10日間

● 目的

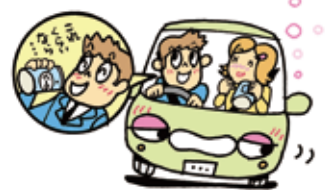
年末は交通量や飲酒の機会が増えることにより、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人一人が交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

● スローガン

無事故で年末 笑顔で新年

● 重点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 歩行者(特に高齢者)と自転車の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

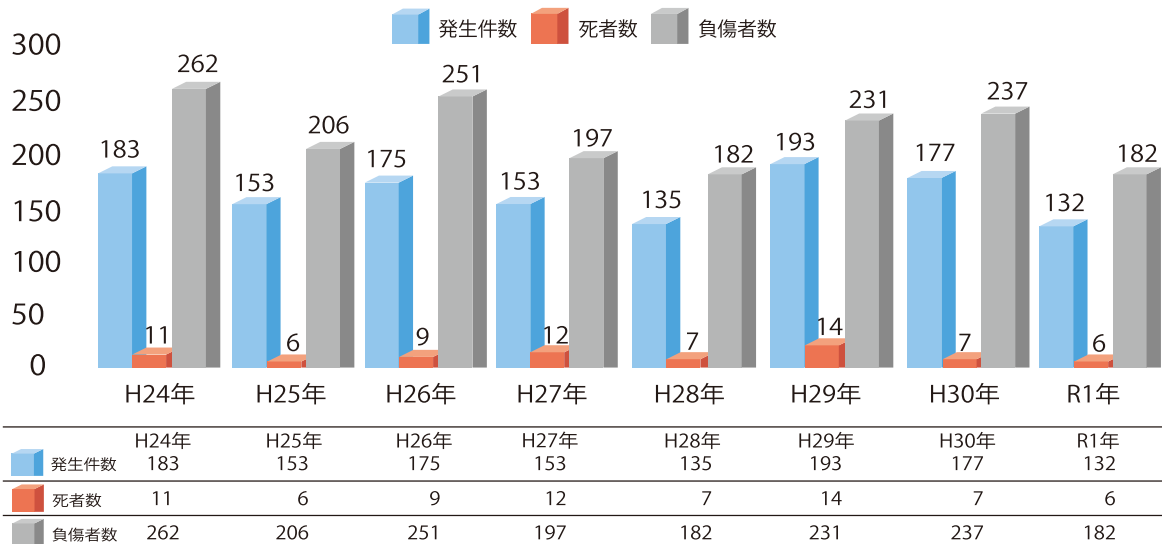


飲酒運転根絶強化月間実施中!!

各地区交通安全協会では、「飲酒運転根絶強化月間」である12月中、悲惨な交通事故を引き起こす飲酒運転を根絶するため、飲酒運転の危険性、悪質性を訴える運動を展開し、飲酒運転事故防止を呼びかけています。



飲酒運転事故の年別推移



【お詫びと訂正】かながわの交通11月号・2頁「飲酒運転根絶強化月間」の記事中、危険運転致死傷罪の「酒気帯び運転」の項、処分の箇所に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤

酒気帯び運転	
罰則	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
処分	呼気中アルコール濃度 0.25 mg / l 以上
	点数 25点 免許取消し(欠格期間2年)
	点数 35点 免許取消し(欠格期間3年)

正

酒気帯び運転	
罰則	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
処分	呼気中アルコール濃度 0.25 mg / l 以上
	点数 25点 免許取消し(欠格期間2年)
	呼気中アルコール濃度 0.15～0.25 mg / l 未満

●●●●●●●● 自転車安全教育指導員講習会 ●●●●●●●●

11月13日(金) 藤沢市の辻堂海浜交通公園において、神奈川県自転車安全教育推進委員会の主催により、自転車安全教育指導員講習会を開催しました。

当日は、地区交通安全協会副会長、事務長、交通指導員、市役所職員等27名(うち女性7名)が参加して、午前の講習では、県警交通安全教育隊隊員から自転車の交通ルール、チリリン・スクールの実施要領等についての講義、交通公園のコースを利用して、見通しの悪い交差点での安全確認など基本走行に係る実技講習を行いました。

午後の講習では、自転車安全教育指導の講習状況を想定して、指導員と受講生のそれぞれを体験する応用走行を行いました。

最後に、検討会、質疑応答の後、当委員会から受講者代表に修了証、チリリン・カード(チリカ)を交付しました。

後日、認定証、指導員バッジを交付する予定です。



二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月20日(金) 県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00~)及び自転車安全教育推進委員会(15:00~)を開催しました。

両委員会とも菅原委員長の挨拶に続き、県警察本部交通総務課担当者から交通事故情勢について説明がありました。

続いて委員会事務局から、令和2年中の所管業務(二輪車安全運転講習会、自転車安全教育指導員講習会等)の取組み状況が報告され、来年度も二輪車、自転車に係る各種業務等を実施することが決定されました。



令和3年度大会等開催予定

- ① 第51回 二輪車安全運転神奈川県大会
令和3年 5月22日(土) 神奈川県警察運転免許センター
- ② 第51回 こども自転車・第9回高齢者自転車神奈川県大会
令和3年 7月10日(土) 横浜武道館
- ③ 二輪車安全運転指導員資格認定審査
令和3年 10月16日(土) 神奈川県警察運転免許センター
- ④ 自転車安全教育指導員講習会
令和3年 11月12日(金) 辻堂海浜交通公園

交通事故の悲劇に学ぶ ⑧7

● 「無責任な運転で」 塗装工 (25歳)

私は取り返しのつかない罪を犯しました。ひとりの尊い命を奪うという交通犯罪を起こしました。

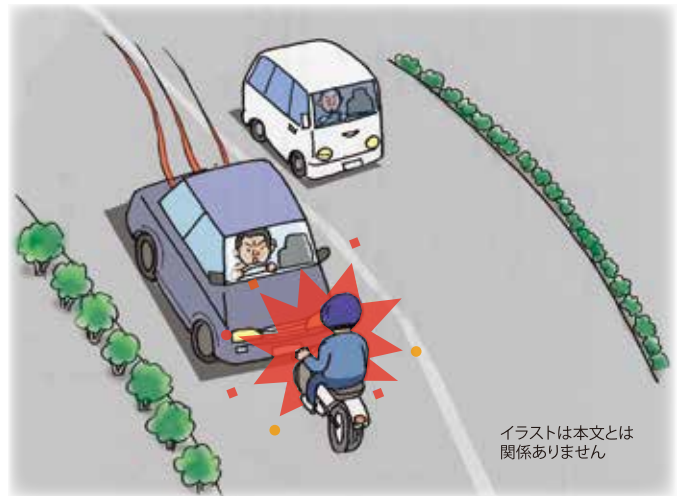
ある年の冬の午前6時30分ころ、当時22歳の私は、普段から走り慣れていた片側1車線の道路を走行していました。この日は会社の社長と一緒に現場へ向かう予定でした。すごく寒い日だったので、早く社長宅へ行き、乗り換える作業車を暖めて待っていようと考え、前方の先行車両を追い越そうとしたのが事故のきっかけです。

私は信号が青に変わるのと同時に、対向車線に進入し、先行車両を追い越しました。その後もすぐに自車線へ戻らずそのまま対向車線を走れば、この先の緩やかなカーブで自然と自車線へ戻れると考え、さらにアクセルを踏み込みました。時間が気になり車内の時計へ目を移した瞬間、「ドン!」と大きな音ともにフロントガラスが割れ、エアバックが作動したので、何かに衝突したと分かりました。確認するため、外へ出たところ、自分の車が道路の真ん中でぐちゃぐちゃになり、停車していましたが、前方には衝突したであろう、相手が見あたりませんでした。周囲を確認したところ、後方に原動機付自転車が倒れており、この時初めて被害者がいる、大変なことをしてしまったと思いました。被害者の方を捜したところ、近くの路肩に倒れていました。すぐに被害者の方のところへ行き、「大丈夫ですか」と声を掛けました。

しかし、反応はありませんでした。私はポケットに入れてあった携帯電話を取り出し、警察と消防へ通報し、私の家族にも事故の連絡をしました。その後、救急車と警察が来ると、被害者の方は病院へ運ばれました。

私自身は怪我もなく、その場で警察の方から事情聴取されました。私の家族も事故現場へ駆けつけてくれましたが、私はその場で現行犯逮捕され、泣き崩れる母親の姿を前にパトカーへ乗り、警察署へ行きました。取調を受けて分かったことは、私が先行車両を追い越すのに出した速度が100キロを超えていたこと、衝突時は97キロという速度だったことです。制限速度が40キロの道路であり、2倍以上の速度でした。取調が終わると同時に「相手の方は亡くなった」と聞かされ、頭の中が真っ白になるとともに、「自分は取り返しのつかないことをした」と申し訳なくて、泣くことしかできませんでした。

その後、私は在宅起訴となり、御遺族のところへ謝罪に伺いましたが、「今はあなたに会いたくない。手紙なら受け取ります」との御意向でしたので、謝罪の手紙を送りましたが、お返事はいただけませんでした。お



通夜にも私は参列できず、私の代わりに両親が参列し、謝罪してくれました。

それから1年後、裁判の日がやってきました。法廷へ入ると、御遺族の方々が遺影を持ち、傍聴席に座っていました。裁判の終わりに「あなたを同じ目に遭わせてやりたい、人殺し」と言われました。その時、私は初めて直接頭を下げ、謝罪をしました。聞いていただけませんでした。私は過失運転致死傷罪で懲役2年10月の判決を受け、現在市原刑務所で受刑生活を送っています。

服役中、御遺族の方との示談が成立しました。しかし、示談が成立してもこの事故が解決した訳ではありません。日々、自分自身と向き合い、後悔と、反省を繰り返し、どう償い、謝罪すればよいか、犯した罪の重大さを考えています。これから先、どのように御遺族の方々と向き合っていかなければならないかを考え、残りの受刑生活を送って行こうと思っています。私が謝罪、償いを続けても御遺族の方々の生活が元通りに戻る訳ではありません。謝罪をし、許して欲しいという訳ではありません。私には謝罪することでしか気持ちを伝えることができません。誠意が通じたから終わりだと思っている訳でもありません。あの事故から3年が経ちますが、1日も忘れたことはありません。私の手で人の命を奪ってしまったことを忘れるはずがありません。私が犯した罪の重大さ、命の尊さを真剣に考え、過ちを反省し出所後心の底から謝罪をしたいと思っています。刑期を終えてからが本当の意味での償いだとは私は考えています。事故を起こしたことで、自分ひとりで生きている訳ではなく、大切な家族がいるということを実感しました。こんな私の帰りを待っていてくれる家族も被害者のひとりだと私は思います。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「贖いの日々(第55集)」から～

この人

176



港南交通安全協会
会長
内倉 忠勇さん



港南交通安全協会は、昭和44年10月に行政区の再編により設立されました。

今回はコロナ禍の最中に役員会の議決で会長に就任された、内倉忠勇さんをご紹介します。

内倉会長は、港南区野庭町に100年以上も続く専業農家の長男として誕生されました。お父様が戦死しお母様の手で育てられた会長は、日々汗水を流し懸命に働く、母の姿に進学の夢を諦め、農家の跡取りの道を選択されました。

昭和38年頃から花苗専門の園芸農家となり、9000平米あるハウスで、毎朝暗いうちから作業されています。

障害者雇用にも対応し、20年以上の継続就労の方もおり、後継者不足が課題となっている農業を守るとの信念のもと、日々精を出されています。

頼まれると断れない性格の会長が、高森前会長に勧められ当協会に入会し、理事になったのは40年以上も前、「会員になってから運転が慎重になり、

子どもを見かけると自然にスピードを落とすようになった。」と語られます。

コロナ自粛の中、活動の休止が続き、「どこまで自分の考えを出して良いのか」と控えめながら、地域の絆を大切にし、自治会、町内会と連携して、交通ルールの順守やマナーの啓発活動に注力して、「港南区から事故を一つでも減らせる対策を」と考えておられます。

全国的に交通事故件数は減少傾向ですが、「高齢者に関する事故を減らさなければ」また、「子どもを乗せている自転車の母親が心配」と気を引き締められる毎日です。

コロナ感染が終息し、趣味の旅行にも安心して出かけられる日常を心待ちにし、今日も港南警察署玄関前には、会長の育てた可愛らしい花がプランターから道行く人々に微笑みかけています。

取材協力：港南交通安全協会

こんにちは
「(一社)高津交通安全協会」です

一般社団法人高津交通安全協会は、昭和21年4月に、川崎市の北部(現在の高津・宮前・多摩・麻生区)を活動範囲として設立されました。

その後、川崎市の政令指定都市移行に伴う区の設置や分区分の結果、現在は高津区の区域を活動範囲としております。

高津区は東京都と横浜市に挟まれた川崎市のほぼ中央に位置し、多摩川や二ヶ領用水等の水辺に恵まれた高津地区と、多摩丘陵の緑豊かな橘地区で構成されています。

高津区の中央に位置する武蔵溝ノ口駅が、市域を縦断するJR南武線と、市域を横断する田園

都市線・大井町線との交通結節点となっていることから、現在も人口が増加しており、自転車の利用が多い地域でもあります。

当協会の活動内容ですが、各季の交通安全運動等に加えて、高津区民祭交通安全パレードへの参加。橘ふろさと祭りや市制記念花火大会など毎年開催されているイベントでの交通整理など、協会役員は忙しい日々を過ごしています。

残念ながら今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種イベントが軒並み中止となってしまいました。

高津区内の交通事故件数



は年々減少しているものの自転車や二輪車、高齢者の事故が目立っています。

今後も会長・役員、交通指導員、事務局が協力し警察や関係交通団体との連携をより一層密にし、交通安全対策を図っていきたいと考えています。

(飯田 記)

地区交通安全協会の活動紹介



海老名市 市役所周辺での交通安全キャンペーン



宮 前 蔵敷交番周辺での交通安全キャンペーン



山 手 本牧地区での交通安全キャンペーン



藤 沢 市 市役所周辺での交通安全キャンペーン



高 津 梶ヶ谷駅入口交差点での交通安全キャンペーン



伊勢佐木 日の出町駅前での交通安全キャンペーン

交通安全活動

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 京浜急行バス(株) ————— 横浜市西区高島
- (株)優志建設 ————— 伊勢原市桜台
- (株)ホンダカーズ横浜 ————— 横浜市保土ヶ谷区岡沢町

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。